



その他の障害



その他の障害
とは

本ガイドブックではいくつかの機能障害ごとに支援の概要などを掲載していますが、実際には他にも様々な疾患や障害等のある学生が在籍しています。ただし、DRCではどのような機能障害があるかではなく、個人の特性と社会・環境側間に生じる様々な障壁(バリア)を障害と捉えています。このような「障害の社会モデル」の考え方に則して、その都度必要な支援を個別に検討していきます。

病名と困難さ、支援例

病名	修学上の困難さ	希望する支援や配慮
過活動膀胱 過敏性腸症候群	授業時間内に頻繁にトイレへ行く必要がある	→ 離席の許可 座席配置(出口付近) 授業後の質問許可等
めまい	吐き気や嘔吐等による離席や欠席、授業の集中困難 通学や教室間の移動が難しくなる	→ 離席の許可 遅刻・体調不良時の授業態度(机に伏せる等) への理解等
起立性障害	普段はめまいやふらつき程度だが、 数ヶ月に1度倒れてしまうことがある	→ 倒れた場合の安全確保・休養 事前の情報提供・相談(救急搬送は不要等)等
アレルギー性鼻炎	くしゃみや鼻をかむ音を立ててしまう 症状がひどいと頭が重い感じや睡眠不足などで 授業に集中できない	→ 離席の許可 授業後の質問許可 試験時の別室受験等
月経前症候群 (premenstrual syndrome : PMS)	イライラ・集中力低下・頭痛等で授業に集中できない・ 欠席してしまう	→ 離席の許可 授業後の質問許可等
書痙(ジストニア)	文字を書く時間がかかる	→ 試験時間の延長 試験の実施方法や評価方法の代替に関する相談等
円形脱毛症	周囲の視線が気になる	→ 授業中の帽子着用の許可等
多汗症	授業資料やコメントカードが汗で濡れてしまう ことが気になる	→ 授業資料のデータ提供 コメントカードの提出方法の調整 試験時のタオル使用の許可等



困難なこと